



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

積丹町第9回マリンナレッジサークルの講師に斉藤部長が出席



2月13日、積丹町にてNPO法人マリネットワーカー主催による、“第9回マリンナレッジサークル(漁村勉強会)「積丹の漁業と日本海漁業振興を考える学習会」”が行われました。マリンナレッジサークルは積丹地域の漁業振興を目的とした意見交換の場として、開催されています。

歯舞漁協からは講師として斉藤総務部長が参加し講義を行いました。「歯舞地区マリンビジョン協議会の取組みについて」と題し、実際の活動内容を“地域ぐるみの協調性が必要”、“長期的視点を持ち、すぐに利益を求めない”など6つのポイントにまとめ、歯舞地域を紹介しました。

また、NPO法人マリネットワーカーの遠藤理事より、地元漁師を中心とした積丹町の漁業についての意見交換も行われました。

その他、講師として後志総合振興局水産課長の加藤氏と積丹町環境生態系保全アドバイザーの河村氏がそれぞれの分野での話題を提供しました。

積丹の漁業は抱える問題も少なくはありませんが、若い漁業者が後継者として漁業に意欲的で、日本海漁業の今後を応援したいと考える企業や研究者、行政など多くありますので、様々な可能性を将来に見出す活動ができることと思います。

北斗小学校出前授業

1月27日、根室市内4漁協の青年部で組織している、根室市漁協青年部連絡協議会が北斗小学校へ出向き、出前授業を行いました。この授業は「根室の水産」を児童自ら調査し、理解を深める時間として設けられました。

歯舞漁協青年部からは、腰青年部員、小土青年部員が参加し、3年生14名(昆布について調べている班)に対しスライドや映像を用いながら、昆布漁や昆布の加工方法についての授業を行いました。

真剣な表情で授業を受ける児童を見て、青年部員も遣りがいを感じていました。

授業を受けた児童からは、「色んなことを教えてくれて楽しかった」、「もっと色々知りたかった」と興味・関心を持った姿が見受けられました。



根室西高等学校 1 学年 歯舞漁協を企業見学

2月4日、根室西高等学校の1学年20名、引率の教員3名が企業見学先として、歯舞漁協を訪れました。

最初に市場の施設見学をしました。実際の「鮮魚」や「セリ」は時間の都合上見学することは叶いませんでしたが、市場職員から業務内容を聞くことができました。続いて直販所では、地方発送をする荷造りの現場や、梱包された昆布などを保管している倉庫内を見て回りました。

最後に製氷工場にて、鮮魚の鮮度保持などに必要な氷の製造方法や保管方法などの説明を受け、一連の業務・作業を学びました。

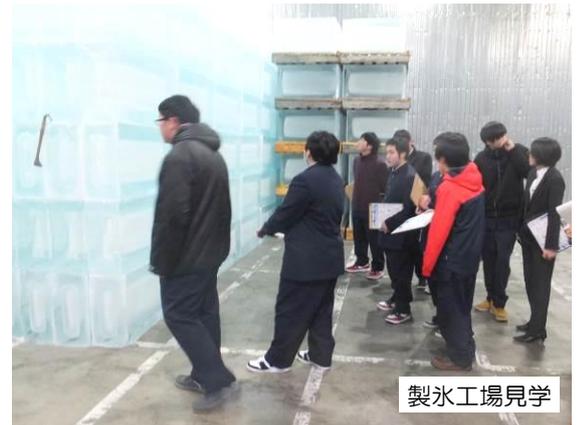
今回訪問した根室西高等学校の生徒達からは、真剣に漁協職員の説明を聞き、多くの質問を投げかけたり、熱心にメモを取る姿がみられ、地元の企業や産業に興味を抱いていると感じました。今後も多くの方々に地元企業や産業に関心を持っていただけるよう、企業見学などの取り組みを継続していきたいと思えます。



市場見学



直販所見学



製氷工場見学

第10回北海道「浜の味」産直市開催



出店の様子



札幌東急百貨店にて「第10回北海道『浜の味』産直市」が開催され、歯舞漁協は2月19日～22日の4日間出店しました。

出品に選んだ商品は、知名度も高く売れ筋の「はぼまい昆布しょうゆ」をはじめとした調味料、「早煮昆布」や「とろろ昆布」などの昆布製品、その他にはこまい、ホッケ、キンキ、イカ、タコなどの魚介類、全19品目を販売しました。今回好評であった商品は「生干しこまいの小袋」と「キンキの切り身」で、大変人気が高く完売となりました。

早煮昆布を使用した結び昆布の試食は、初めて口にしたお客からも「おいしい。やわらかい。」と大変好評でレシピを尋ねられたりし、売上げ上位となりました。また、試食提供したどの商品も好評であった為、PR次第ではどれもが主役にでき、歯舞の水産物の質の高さを実感できました。

編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

